

## 一般病棟における新型コロナウイルス感染（第2報）と最近のご支援について

1月26日に判明いたしました当院一般病棟の同室者2名の新型コロナウイルス感染につきまして、その後の検査と調査の結果をお知らせいたします。

1月27日までに、同病棟の他の患者様と看護師、同病棟に関わる医師、薬剤師、リハビリスタッフ、事務員などのPCR検査で、全員の陰性が確認されました。感染した患者様は入院中に手術を受けていらっしゃいましたので、28日には手術室の看護師と麻酔科医全員のPCR検査を行い、全員の陰性が確認できました。さらに、感染の拡大がないことを確実にするために、潜伏期を考慮して少し間を空けて、2月1日に同病棟の患者様と関係したスタッフのPCR検査を再検し、全員の陰性を確認いたしました。これらの結果より、感染経路としては、感染した患者様の内1名の入院直前のPCR検査が偽陰性であった（感染していたが検査で陰性と判定された）ことが推察されます。感染した患者様お二人は、当院の感染者専用病棟の個室に入院中であり、症状もなくお元気に過ごされています。お二人は、一般病棟で向かいの病床に入院されており、親しくなられてマスク無しでよくお話をされたり、お互いの面倒を見たりなさっていたそうです。大変残念なことです。入院時にPCR陰性が確認されていても、このようなことが起こり得るので、入院中の患者様同士も会話の時はマスクを着用していただき、お互いの接触を最小限にしていたいただかなければなりません。

2月3日より、当該病棟で実施しておりました新規入院の制限を解除いたしますが、さらに念を入れて、あと1週間は現在入院中の患者様と新規入院患者様の病室を分けることといたします。

上記のような院内感染への対応に苦慮していることを、励ましていただいているかのように、時期を同じくして、お菓子やお弁当などの差し入れのご支援を賜りました。ここでご紹介するとともに、感謝の意を表したいと思います。1月27日には浅草のサツマイモ菓子専門店「おいもやさん興伸」様からスイートポテト500個、1月29日には「ヨックモック」様より銘菓「シガール」を180箱、さらに当院のお向かいの「竹隆庵岡埜」の竹田様より、台東区の歴史的記念物に因んだ「お行の松」と命名された和菓子500個と節分に合わせて福豆300袋をいただきました。昨年当院の診療停止により、竹田様にはかなりのご迷惑をお掛けしたと存じますが、ただただ「皆さんを少しでも元気づけたい」とおっしゃって下さいました。NPOのJAPAN HEARTからは、2月2日に恵方巻80本をいただきました。台東区にお住まいの匿名の個人の方から、浅草「川松」のうな重弁当50人前を、2月2日から4日間、計200食届けていただいております。電話でお礼を述べることはできませんでしたので、ご高齢の男性であることは分かりましたが、「一区民として、このくらいの事しかできませんので」とおっしゃられ、ひたすら感謝を申し上げることしかできませんでした。昨年の春と同じように、皆様のご厚意によって心が澄み渡るような感覚を憶えております。本当にありがとうございました。職員にも感謝の気持ちを忘れず、常に安全性に気を配りながら、地域医療に懸命に取り組むよう改めて促したいと思います。

令和3年2月3日  
永寿総合病院院長  
愛甲 聡